

市民福祉ネットワーク“ひろしま”の加入団体紹介

市民福祉ネットワーク“ひろしま”は、広島市内に活動拠点を置く住民参加型在宅福祉サービス団体、福祉分野のNPO法人、非営利福祉活動団体などの市民福祉活動団体が、利用者主体のサービスを実現することを目的として互いに連携・協働している集まりです。

NPO法人 さわやかあ広島

住み慣れた地域で、安心して暮らしていただくための支援活動を行っています。

- ★対象者★
- 会員登録者(登録料なし)
- ★活動内容★
- 生活援助(家事一般) ● 移送サービス
  - 子育て支援(フリースペース)
  - 居場所づくりなど

お問い合わせ  
〒731-3164 広島市安佐南区伴東1丁目25-1  
TEL(082)849-6310  
FAX(082)849-6318  
(月曜日～土曜日 24時間TEL対応)  
E-mail:sawayaka@abeam.ocn.ne.jp



ボランティア情報センターに利用登録している団体紹介

三井ボランティアネットワーク事業団 中国支部

高齢化社会の中、活力を保ち続け、国民生活を維持向上させていくためには、シニアが積極的に社会活動に参加し、活躍できる環境を作り出すことが急務であると考え、三井グループ企業の協力を得て設立されました。

会員登録はホームページより、三井グループ企業以外の方も、どなたでも登録できるようになっています。

- ★活動内容★
- 広島平和公園の清掃活動
  - パソコン教室
  - 各団体主催のボランティア活動への参加
  - 福祉・国際交流・森林保全・病院ボランティア活動等

お問い合わせ  
〒730-0017 広島市中区鉄砲町6-7 榎本ビル5階  
三井ボランティアネットワーク事業団 中国支部  
TEL・FAX(082)222-5101  
E-mail: m-vnet-c@agate.plala.or.jp  
ホームページ <http://www.mv-net.com/>

広島大学 ぼらさー

私たちは、広島大学東千田キャンパスのメンバーで結成したボランティアサークルです。10人にも満たないメンバーですが、楽しく活動しています。

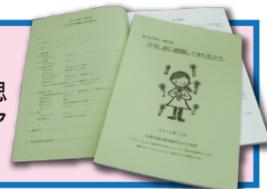
- ★活動内容★
- キャンパス付近の清掃活動
  - 各種ボランティア活動への参加

お問い合わせ  
E-mail:(代表 毛利) rovertbaggio@gmail.com



**東日本大震災 体験記録「ひろしまに避難してきた私たち」の発行について**

東日本大震災により広島に避難してこられた方から、様々なかたちで寄せられた「体験した真実とその思い」を、体験記録集として発行することができました。1部500円でお求めいただき、被災者支援ボランティア本部の活動支援金とさせていただきます。ご希望の方は、ボランティア情報センターまでご連絡ください。



高齢者疑似体験セットを寄贈していただきました

本年度も、峯グループ様より高齢者疑似体験セットの大人用を3セット寄贈していただきました。

高齢者疑似体験セットは近年利用が多く、平成24年度の利用は22件でしたが、平成25年度は、1月末現在で32件に上っており、2月以降も数件の予約が入っています。このたびの寄贈で、利用者の皆様に、より一層便利にご利用いただけると考えています。誠にありがとうございました。

高齢者疑似体験セットとは

特殊な眼鏡、膝や肘のサポーター、重りを付けた上着などを装着することにより、身体を自由に動かすことができない高齢者の体験をする道具です。筋力の衰えや視力・聴力の低下、身体機能の低下や心理的变化を擬似的に感じることができるので、行政機関や企業の研修、学校の福祉教育の場などで広く利用されています。

貸し出しについては、ボランティア情報センターにお問い合わせください。



広島市社会福祉協議会の職員も体験しました

広島市ボランティア情報センター

NEWS No.31

2014.3月号

ふれあいネットワーク 〒730-0052 URL <http://shakyo-hiroshima.jp/>  
社会福祉法人 広島市社会福祉協議会 広島市中区千田町一丁目9番43号  
TEL(082)544-3399  
E-mail:voinfo@shakyo-hiroshima-city.or.jp FAX(082)544-3404

小さな幸せつながり

活動者インタビュー 安田ボランティア部 安田女子大学 文化局所属サークル

代表 中村 美麗



Q1 安田ボラ部に入部したきっかけは?

大学入学を機に新しいことを始めたいと思い、ずっと関心があったボランティアに挑戦することにしました。中学・高校と運動部に所属しており、自ら積極的に幅広い年代の方と接することがなかったので、ボランティア活動を通して、多くの人と出会い、自分を成長させたいと考え入部しました。



Q2 印象に残ったボランティア活動は?

福島県南相馬市での土日お茶会サロンです。現地では、広島クイズの披露や、お好み焼きを振る舞い、被災者の方に沢山の貴重なお話を聞かせて頂きました。実際に被災地に赴くことで、メディアを通しては知ることが出来ない、現在の状況や被災者の心境を知ることができました。



Q3 今後の夢(目標)は?

ボランティアを通して学んだことや感じたことを、1人でも多くの人に伝えていくことです。自分だけの経験として終わらせるのではなく、周りの人に伝えていくことで、ボランティアに関心を持ち「私もボランティアをやりたい!!」と1人でも多くの人に思ってもらえたら嬉しいです!!

副代表 藤本 美優



Q1 今、関心のあることは?

海外でのボランティアに関心があります。大学の講義で、日本から海外へ向けて物資の支援や寄付ができることを勉強するのがきっかけです。また、実際に海外に行く活動もあることを知り、子どもたちと一緒に遊んだり、日本の文化を伝えたりと国境を越えて活動できることに魅力を感じました。学生であるうちに一度は訪れたいと思っています。

Q2 これから挑戦してみたいことは?

昨年に引き続き、南相馬市土日お茶会サロンでの活動を多くの人に知ってもらうことです。私たちが感じたこと、見てきたことを、6月に大学で行われる文化展で伝えるため、これから実際に聞いた話や写真を元にまとめていきたいです。初めての挑戦ですが、みなさんの心に響くものを作りたいと考えています。



Q3 失敗談はありますか?

ボランティアで親子の案内係を任されたとき、受付係とうまく連携が取れず、並ぶべき場所に誘導できなかったことです。結果、迷惑をかけてしまい、不愉快な思いをさせていただきました。この経験から、事前の打ち合わせをしっかりと行い、臨機応変に対応しなければならないことを学びました。